

“イノブタ”を核にした新複合産業の創出

現状と課題

- ◆「イノブタ・タービー」「イノブタン王国」等で“イノブタの町”としての知名度はあるが、すさみ町産のイノブタ生産量が少ない
- ◆町内で流通している精肉も県外産が大半で、肉の加工品はなし
- ◆特産の伊勢エビ、ケンケン鰹は季節モノで、通年型の観光資源が必要

名実ともイノブタを町の特産とし、1次産業(生産)、2次(加工)、3次(観光)の複合産業を創出

【事業主体】

すさみイノブタ生産組合
すさみ町わがまち元気プロジェクト推進協議会
すさみ町観光協会、すさみ町商工会
すさみ町

【活用事業】

わがまち元気プロジェクト支援事業
新農林水産業戦略プロジェクト推進事業
すさみ町事業

【全体事業費】

39,738千円

生産組合17,238千円、町10,000千円

取組の4本柱(H21~H23)

- (1)イノブタ生産の拡大 [イノブタ生産組合] 24,438千円
 - 生産・肥育施設の建設[(35頭(H20) → 230頭(H24) → 1,000頭)]
- (2)イノブタ加工品の創出 [元気プロジェクト推進協議会、イノブタ生産組合等] 2,455千円
 - ハム、ソーセージ等加工品の試作
 - 加工品の製造と販売
- (3)食による観光商品の創出 [観光協会、商工会、町] 10,253千円
 - イノブタ建国祭、イノブタフェアでの食の魅力発信
 - イノブタ料理の開発と、町内宿泊施設や飲食店での料理提供
 - 旅行会社による、イノブタイベントやソーセージ作り等加工体験、料理を組み込んだ旅行商品造成
- (4)すさみイノブタの売り出し作戦 [イノブタ生産組合、元気プロジェクト推進協議会] 2,592千円
 - 都市交流や食のイベントを通じた県内外へのプロモーション

イノブタ肥育施設



すさみイノブタ「イブの恵み」



加工品(イメージ)



目 標

イノブタ生産・加工と観光を組み合わせた新たな複合産業を創出

- ①生産 … H24年度230頭出荷し、将来的には1,000頭(2億円)出荷へ
- ②加工 … 加工品の製造と販売
- ③観光 … 観光客30%増(H19年:244,000人→H25年:320,000人)